

シリーズ

名演探訪 ～日本の合唱

4 「美しい訣れの朝」

早川 功

令和5年(2023)2月28日

click [Isao Hayakawa 集まれ合唱!](#)
facebook公開グループ「集まれ合唱!」
に連載したものをまとめました

東京コリアーズや大学生による男声合唱が隆盛となる中、戦後女性の教育権利の向上と共に、主に私立、ミッション系の女子大、短期大学においても合唱活動が活発になってきます。多くの女子大は学校教育者の育成に力を入れており、音楽科・声楽科を専攻する学生も多かったことで男子の大学以上に専門的な合唱活動が可能な素地がありました。

1953年、神奈川のフェリス女学院大学音楽科講師に就任したのは作曲家の中田喜直。既に日本歌曲や放送音楽の作曲などで有名な存在でしたが、ここで同年に組織されたフェリス女声合唱団（後の日本女声合唱団）という卒業生によるプロフェッショナルな団体に関わり、その演奏のために女声合唱曲の創作に力を入れることとなります。初めは過去の自作歌曲（「夏の思い出」や「雪の降る街を」など）の編曲が主でしたが、後に木下保氏の指導する日本女子大合唱団の演奏を聴いて、女声合唱でもスケールの大きい芸術性を追求できる可能性に開眼したそうです。そうして生まれたのが1963年の芸術祭奨励賞を受賞した組曲「美しい訣れの朝」でした。作詩は阪田寛夫。

男声合唱組曲「美しい訣れの朝」

作詩：阪田寛夫

作曲：中田喜直

指揮：近藤安^{やすかず}介

ピアノ：三浦洋一

合唱：中国短期大学フラウエンコール



<https://www.youtube.com/watch?v=opin7IFAjI4>

五編からなる阪田の詩は夫を残して先立つ死期を悟った一人の女性の言葉を綴ったもので、卓越したピアニストでもあった中田の曲は前奏のピアノの一音からその心情を捉えたものとして見事の一言。発表以来、日本中の女声合唱団に愛唱され、多くの聴衆の涙を誘った名曲として不滅の作品となりました。

紹介する音源は近藤安^{やすかず}指揮の中国短期大学フラウエンコールとピアノは三浦洋一によるもの。福永先生が監修していた東芝の「現代合唱曲シリーズ」の一枚で、もう一曲の組曲「蝶」を福永先生が同合唱団を指揮していたアルバムでした。

近藤氏は芸大、二期会で活躍した歌手で畑中良輔門下。指揮は森正に師事しており、フラウエンコールでは1973年に全日本合唱コンクール大学部門3年連続金賞を成し遂げ、名実ともに日本最高の女声合唱団と賞されていた頃の録音です。

若々しく瑞々しい響きでありながら、大人の女性としての深さも併せ持った美しい歌唱と感じ入ります。そしてここでもやはり三浦洋一のピアノが素晴らしい。

【シリーズ バックナンバー】

- ▶ 1 男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」
- ▶ 2 男声合唱組曲「月光とピエロ」
- ▶ 3 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
- ▶ 4 女声合唱組曲「美しい訣れの朝」
- ▶ 5 女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
- ▶ 6 混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」
- ▶ 7 混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノのための「動物の受難」
- ▶ 8 混声合唱組曲「島よ」
- ▶ 9 男声合唱組曲「水のいのち」
- ▶ 10 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

[Back](#)[音楽・合唱TOPへ](#)[Home](#)[HOME PAGEへ](#)